



田口 充宏 くん  
「兄ちゃん大好き！  
おっキュー♡」  
(黒谷)



島田 昂輝 くん  
「パン、美味しいなあ♪」  
(中村町)



柴崎久奈子 ちゃん  
「にいに、遊ぼ♡」  
(日野田町)



荒野 公志 くん  
「お兄ちゃん  
だあーいすき^^」  
(近戸町)



**応募方法**

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、[hisyo@city.chichibu.lg.jp](mailto:hisyo@city.chichibu.lg.jp) まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。  
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

**秩父地域の高校**

**鹿高祭『わらじかフェスタ』**

(小鹿野高校)



秋晴れの天候にも恵まれた11月4日、毎年この時期恒例の「鹿高祭『わらじかフェスタ』」が開催されました。来場者は全校生徒の約4倍にあたる800人を超え、盛大な文化祭となりました。今年も、文化祭リーフレットを生徒会役員が秩父郡市内中学校を直接訪問し全生徒への配布を依頼したり、地元の小鹿野中学校の登校時間帯に直接手渡ししたりと、今までに無い広報活動を展開しました。

当日は秩父市イメージキャラクターの「ポテくまくん」や、西秩父商工会青年部キャラクターの「つららん」も登場し、お客さんを笑顔にしてくれました。保護者だけでなく地域の方も来場され、生徒の企画したさまざまな催しものを楽しんでいました。また、小鹿野高校の生徒がこれまで就労体験に行った幼稚園等に毎年依頼している「ぬりえ展」への出展は過去最高の450点超えとなり、共に鹿高祭を盛り上げてくれました。

小鹿野高校はこのような催し等を通して、引き続き地域に根差した学校づくりを進めていきます。



**市民文芸**

**俳句**

竹内 弥太郎 選

行く秋を遺影の夫と惜しみけり	父の忌の墓ひとり訪ふ新松子	子らの声真つ直ぐ天へ秋気澄む	秋天の飛行機雲は音と化し	三度目の針糸通す虫の夜	木犀の香り背に受け空見上ぐ	風立ちちて一気に花野匂ひたつ	彼岸花揺らして電車通り過ぐ	コスモスの彩りゆれて道の駅	木枯や昼寝横町という通路
上吉田 山口 富江	上野町 櫻井 照子	近戸町 須田 真弓	黒谷 榎本 久	小柱 設楽 キマ	野坂町 浅見 和子	黒谷 中村 美代	下影森 吉岡 美紗	上町 濱田 愛子	大野原 内田 栄一

(評) 清く澄む秋空に、逝きし人への思い出が深まり、富江さんは夫の遺影に声をかけ、照子さんは、一人で父君の墓を訪れています。キマさんは虫の心に豊かに、真弓さんは天にひびく子どもの声を、久さんは雲に音を聴き、和子さんは木犀の香りで空の広がりを表白しました。美代さんは風の表現する花野の光と香りを、美紗さんは彼岸花の鮮やかさを把握しました。愛子さんはコスモスの花の優しさを、道の駅で効果的に捉え、栄一さんは、地域の名前だけで作品としたのは面白いです。良い作品を生み出すには、発見したことを五感で表現することが大切です。

※次回1月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 12月末締切→2月号に掲載  
短歌 1月末締切→3月号に掲載

わが家のアイドル・市民文芸への応募は、市役所秘書広報課(〒368-8686 熊木町8-15)へ

なお、掲載した内容は、市ホームページでも公開します。